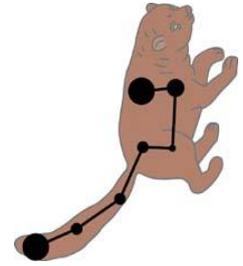


ポラリス通信



第56号 令和7年1月23日

萱田南小学校 6年生 キャリア教育を終えて

1月23日(木) 萱田南小学校では、6年生を対象にキャリア教育の一環として、たくさんのゲストティーチャーをお招きし、様々な職業について学習しました。子どもたちは、その職業に就くまでに大切なことや、必要な資格について教えていただいたり、その職業の給料や働く時間等、現実的なことを質問したりし、目を輝かせながらたくさんのことを学ぶことができました。



パイロット



警察官



教師



薬剤師

【子どもたちの主な感想】

- ・失敗して終わりではなく、成功するまでチャレンジすることが大事だと思った。
- ・保育されているときにはわからなかったけれど、話を聞いて保育をすることの大変さがわかった。
- ・実験をしながら説明してくれたのでわかりやすかった。
- ・将来の夢の職業で働いている方に直接話を聴くことができ良かった。



看護師



エンジニア



大学職員



保育士

【ボランティアのみなさんの感想】

- ・子どもたちに話をしながら元気もらった。6年生が仕事について考える時間は大切だと思う。
- ・元保育園児だった子どもたちが声をかけてくれて嬉しかった。子どもの接し方については話をした。
- ・質問すると反応があり、考える力のある子どもたちだと感じた。
- ・みんなが知っている仕事で大変なイメージがあるが、メリットについても話をした。
- ・最初は緊張していたが、防弾チョッキを着て走ったり、装備品を紹介したりするうちに打ち解けていた。
- ・小学校の頃の話をして、その頃があるから今があることを話した。
- ・協調性やチームワーク、コミュニケーション能力等、総合的な人間力が必要なことを伝えた。
- ・若い人材が求められているのでチャレンジしてほしい。

【最後に、学年の先生方からのコメントなど】

- ・子供たちが夢中になって話を聞いている姿、意欲的に質問している姿が印象的でした。将来の夢である職業だけでなく、色々な職業の話を聴くことで、子どもたちの興味関心を広げることができました。将来のために小学生の内から身につけておくべきことを意識しようとする子供たちが増えたように思います。